日本自立準備ホーム協議会

日　準　協

一般社団法人 日本自立準備ホーム協議会



本　　部

住　　所　〒463-0025　名古屋市守山区元郷 1-1310

メールアドレス　info@nichijyunkyo.com

ホームページ　https://nichijyunkyo.com/

東京事務所

住　　所　〒144-0051　東京都大田区西蒲田 6-17-5 2階

電 話 番 号　090-2153-6865　　FAX 番号　03-3730-5573

POSC
一般社団法人
パチンコ・パチスロ社会貢献機構

このリーフレットは、一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構からの助成金で作成しています。



刑務所に入所していたころのAさん、出所後、どこに帰ったら、自立した生活ができるか不安でした

刑務所などから出所し帰る先としては「家族・知人のもと」、「更生保護施設」、「協力雇用主のもと」などがあるけど、自分は、



また、刑務所に入る前の状況に戻ることになるのかなと考えると「お先真っ暗」な気持ちになった。

以前に「自立準備ホーム」のことを知り合いから聞いたことがあった。刑務所の係の人にどういう施設なのか教えてもらい、「自立準備ホームなら自分の不安は解消する」と感じた。私の思いを刑務所の係の人に伝え、保護観察所に調整してもらい、帰住先として確定した。





仮釈放で刑務所を出て、自立準備ホームの生活が始まった。

自立準備ホームでは、住む部屋や朝昼夜三食の食事提供をしてもらい、就労や生活費の管理などの相談に乗ってもらった。

私の場合は、自立準備ホームで家電製品、日用品、着替えなどを揃えてもらい、うれしかった。また、いつも、私のことを心配してくれるスタッフがいて、気軽に相談できるのはとても心強く感じた。人とつながっている実感を持つことができた。

入所後しばらくして仕事も決まり、しだいに、朝起きて仕事に向かい夕方ホームに帰って次の仕事の準備をするという「1日の生活リズム」ができあがってきた。生活が安定したので、6か月後に退所となった。

自立した今でも、不安や心配なことはあるが、入所中に相談ができる場所の情報をスタッフが教えてくれたのでとても助かっている。

ホームのスタッフにはたまに相談にのってもらっている。



（一社）日本自立準備ホーム協議会の基本理念・ミッション

自立準備ホームは全国５０６施設（令和５年４月１日現在）、保護観察所に登録されています。

事業者のバックボーンは、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、ホームレス支援、依存症回復等の施設、ホテル業、不動産業など多種多様です。事業者はバックボーンを活かしながら入所者の自立を支援しています。

令和４年３月２１日に、一般社団法人日本自立準備ホーム協議会を設立しました。本協議会の目的は、全国の自立準備ホーム事業者が連携することで、事情があって刑務所や少年院から地元への円滑な帰住が難しい方々に対して、生活基盤を立て直す「安心できる住まい」を提供すること、社会復帰と自立をサポートするため各事業者の自立支援の力を向上させることです。

令和５年１１月３０日現在、６６事業所が本会の会員として一緒に活動しています。

基本理念

- 孤独と空腹をなくし、居場所をつくる。
- 仲間と寄り添い、信頼の貯金を殖やす。
- 自分と未来は変えられる。でも、一人では変えられない。

ミッション

- 罪を犯した人の住まいの選択肢を増やす。
- 自立準備ホームの自立支援力の向上。
- 自立準備ホーム同士と関係機関との連携。

ミッションを達成するための活動

① 罪を犯した人の住まいの選択肢を増やす

現状　全国の自立準備ホームの数　５０６施設（Ｒ５．４．１現在）
現在の正会員数　６６施設 → １００施設が目標
（Ｒ５．１１．３０現在）

★ ミッションを具体化するための事業

◆ 全国規模の講演会等の開催

◆ 自立準備ホーム情報冊子の作成・配布

配　布　先…全国の刑務所、少年院、拘置所、
矯正管区、地方更生保護委員会、
保護観察所、弁護士会、
地方検察庁など

※ご入用の方はご連絡ください。





◆ リーフレットの作成・配布

配　布　先…一般の方や企業等の
支援者など

元入所者からの一言

私は、35歳の時から45歳まで4回刑務所と社会を行ったり来たりしましたが、ずっと、後悔や反省を繰り返すだけでした。誰も受け入れてくれる人はいない、立ち直る手立てがないなどの多くの孤独を抱え、社会に出る度に過去に引きずられ、不安に押し潰されていました。

今回、仮釈放をいただき、以前から交流していたNPO法人の自立準備ホームに帰住することができ、「食べる」「働く」「寝る」などの毎日の生活を大事にすることで、社会生活に希望を見出せました。ホームにいる間は調理スタッフの手伝いをし、人のために活動できる喜びを日々感じることができました。罪を犯した者にも寄り添ってくれる人がいることを知り、頑張ろうと思いました。

社会復帰して10か月が経ちました。面接対応などホームの支援を受け、介護職員として就労でき、職場では、新人への教育も任されるようになり、休日にはNPO法人で調理スタッフとしても活動しています。

今でも孤独や不安は消えることはありませんが、相談できるところ、居場所があること、必要とされることなど安心感は自立に向けとても大切だと思います。私はホームで長いトンネルを抜け再出発ができたので、多くの人にもホームのことを知って、自分らしい再出発をしてもらいたいと思います。

恩返しのためにも、今後も私と同じような立場の人の気持ちに寄り添って活動していけたらと思っています。

② 自立準備ホームの自立支援力の向上

現状　全国規模の研修会　１回／年 → ２回／年が目標

　　各ブロックでの勉強会・研修会の開催　８回／年 → １２回／年が目標

★ ミッションを具体化するための事業

◆ ホームページ【会員ページ】による情報共有・交換

https://nichijyunkyo.com

◆ 各ブロックでの勉強会・研修会の内容の一層の充実

【ブロック…北海道・東北・関東・中部・近畿・四国・中国・九州】

☆ 各ブロックの実情に合わせてテーマを選定する。

☆ 参加が得られやすいようハイブリッド形式を取り入れる。





勉強会参加事業者から一言
☆施設間の連携強化について

- 勉強会は団体同士の連携を強める機会になると思う
- それぞれが、できる活動・得意分野を生かした活動が出来れば、継続できる
- 同じ地域内でも、他の自立準備ホームの存在は明かされておらず、横のつながりを作りにくいため、協議会の存在は連携の一助となる
- 全国組織が頼られる存在であってほしい
- 横のつながりだけでなく、経験やテクニックなど縦のつながりもできてくると助かる
- 支援の幅を広げるために横のつながりは欠かせない
- 今までは他の準備ホームとの繋がりがなかったけれど、協議会が主催する勉強会は自立準備ホーム同士の交流の良い機会になる



③ 自立準備ホーム同士と関係機関との連携

現状　　全国規模の講演会・シンポジウムの開催　１回／年 → ２回／年が目標

★　ミッションを具体化するための事業

- ◆ 標準的研修プログラムの提供
- ◆ 講師等人材バンクの整備
- ◆ 自主研修の促進
- ◆ 協議会ホームページでの関係省庁の通達の共有
- ◆ 全国規模の講演会・シンポジウムの開催





（Ｒ５．１．２９　於 広島）

講演会参加者へのアンケート

ご意見・ご感想

それぞれがそれなりに、自信を持つことで自立できるという事がよく分かりましたので、この様な事を全国規模で情報発信して貰えれば良いと思いました。

ご協力ありがとうございました

ご意見・ご感想

当事者が必要な所に繋がるまで、相当な時間がかかっている事のもどかしさを感じた。「加害」と「被害」がセットである事が少なくないことがわかった。

ご協力ありがとうございました

ご意見・ご感想

矯正施設から社会へ送り出すことは期限（刑期）が来れば、当たり前に来る。その後は保護観や保護施設、はたまた地域にお願いするしかない。社会で刑務所出所者等が色眼鏡で見られず、支援の対象者としてみてもらえるよう垣根、ハードルを下げることが、矯正（刑務所、少年院）としての役割であると感じた。矯正から保護とシームレスな社会復帰を実現できるよう協力して歩みたいと思う。

ご協力ありがとうございました

ご意見・ご感想

今まで知らなかった自立準備ホームのこと（必要性）がよく理解できました。

ご協力ありがとうございました

ミッションを実現するための安定的な運営に
ご支援お願いいたします。

矯正施設等から帰住される皆さんは、多くの不安を抱いて地域社会に帰ってこられます。

自立準備ホームは一人ひとりの利用者に寄り添い支援することはもとより、彼らへの偏見をなくし、再犯のない社会環境づくりを目指します。

本協議会は、令和４年３月２１日に４０事業所でスタートしましたが、１年半後の現在６６事業所に増加し、全国の多くの事業者の力を結束して、ミッションを実現するために積極的に活動を展開しています。しかしながら、歩き始めて間がない組織でもあり、活動を拡大していくため皆様のご支援が必要になります。是非とも一緒に歩いていただき犯罪のない社会づくりの実現に向けて、社会に貢献をさせていただきたいと思います。

賛助会員による支援

賛助会員とは

■ 法人の活動に賛同する団体及び個人

■ 入会申込書により申込みを行う

■ 一口 5,000円　となっています。

〇裏面の「日本自立準備ホーム協議会」賛助会員申込書を事務局にファックス、メールでご送付ください。

〇次の口座にお振込みをお願いします。

★ゆうちょ銀行から送金する場合

【記号】１２０４０

【口座番号】２１９７７６２１

【口座名義】一般社団法人日本自立準備ホーム協議会

★ゆうちょ銀行以外からの金融機関から振込

【銀行名】ゆうちょ銀行

【店名】二〇八（ニイゼロハチ）【店番】２０８

【預金種目】普通預金

【口座番号】２１９７７６２

【口座名義】一般社団法人日本自立準備ホーム協議会

寄付等による支援

■ 本協議会の活動、事業者の支援に活用させていただきます。

■ 法務省の委託費には、家賃、水道光熱費、食費は含まれていますが、消耗品費や医療費などは含まれません。各事業所の自己負担になります。

・着の身着のままの状態で入所する場合が多く、洋服など季節に応じた当面の生活支援が必要になります。

・様々な疾患に罹患して、矯正施設内でも服薬などしているケースがあり、早々に受診をするなど当面の支援が必要となります。

■ 寄付金、現物のご寄付も助かります。

〇寄付金の場合は、賛助会員と同様にお振込みをお願いします。

ミッションを実現するために、是非、日本自立準備ホーム協議会の活動にご支援くださいますようお願いいたします。

「日本自立準備ホーム協議会」賛助会員申込書

令和　　年　　月　　日

日本自立準備ホーム協議会　御中

私は、貴会の主旨に賛同しましたので賛助会員として申し込みます。

（※印は、必須事項です）

氏名（ふりがな）・団体名（ふりがな）	※
住所	※〒
連絡先担当者名	※
メールアドレス	※
賛同金口数及び金額	１口　5,000円×　　口＝　　円
備考	

上記記載後、FAX 番号 03-5499-0476　または、info@nichijyunkyo.com までご提出願います。

＊ゆうちょ銀行から送金する場合

【記号】１２０４０　【口座番号】２１９７７６２１

【口座名義】(一般社団法人)日本自立準備ホーム協議会

＊ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込の場合

【銀行名】ゆうちょ銀行　【店名】二〇八（ニイゼロハチ）【店番】２０８

【預金種目】普通預金　【口座番号】２１９７７６２

【口座名義】(一般社団法人)日本自立準備ホーム協議会

ご不明な点は、日本自立準備ホーム事務局　東京事務所

長谷川（090-2153-6865）までご連絡ください。

コピーしてお使いください。